

## 第2学年道徳学習指導案

日時 平成23年9月30日(金) 5校時  
学級 2年2組(男子16名, 女子21名 計37名)  
授業者 千田 剛

1 主題名 相手の思いを生かす広い心 【2-(5) 自他の尊重 寛容, 謙虚】

2 資料名 発車, オーライ! (学研「かけがえのないきみだから」)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

本時の授業は, 内容項目2-(5)「それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなものの見方や考え方があつてを理解して, 寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。」をねらいとした。指導要領には「個性の尊重や寛容の心をもち謙虚に他に学ぶことが人間としての成長に役立つことを理解できるようにすることが大切である。」とある。中学生の時期は, ものの見方, 考え方にちがいが現れてくるとともに, 個性がはっきりしてくる。そのために, 自分の考えや立場に固執したりする傾向が強くなり, 友人間に意見の対立や摩擦が生じることも少なくない。その一方で, 同調過剰の傾向も生じやすく, いじめのような社会問題に発展することもある。また, この時期は, 反抗期にもあたり, 独自性がでてくるために, そのプロセスとして, わがままを言ったり, 寛容さと謙虚さに欠けるといふこともあることを忘れてはならない。

本資料は, うっかり乗ってしまった乗客に頼まれ, 規則で停止することができないところで, ブレーキテストということでバスを停止し, 乗客をおろしてあげるといふ内容である。どんな理由があろうとも, 規則により停車はできないとする乗務員の責務でありながら, 乗客の悲痛な訴えとその心情を心から理解し, 何とかしたいといふ乗務員の広い心に深く共感させることは, お互いの考えや立場を尊重することの大切さに目覚めさせる良い機会となると考える。

(2) 生徒について

本学級の生徒は, 明るく元気がよく, 素直な生徒が多い。積極的に挙手・発言する生徒は多くはないが, 自分とは違う他人の意見にも耳を傾け, 自分の考えと照らしあわせながら, より深めていこうとする姿勢が見られる。

体育祭や地区新人戦などの行事を通じ, 相手の立場や置かれている環境を尊重して, 協力する心情も大分培われてきてはいるが, まだ未熟で, 自己中心的な考えの生徒も多く, 班全体やクラス全体のことを考えての言動は少ないように思われる。また, 自己中心的な言動によって他者を傷つけてしまう場面も見られる。

今回の授業を通して, 自分の事ばかり考えて過ごすのではなく, 相手の立場になって物事をよく考え, 行動することで, 周囲とよりよい関係を築くことにつながることを伝えたい。

(3) 資料について

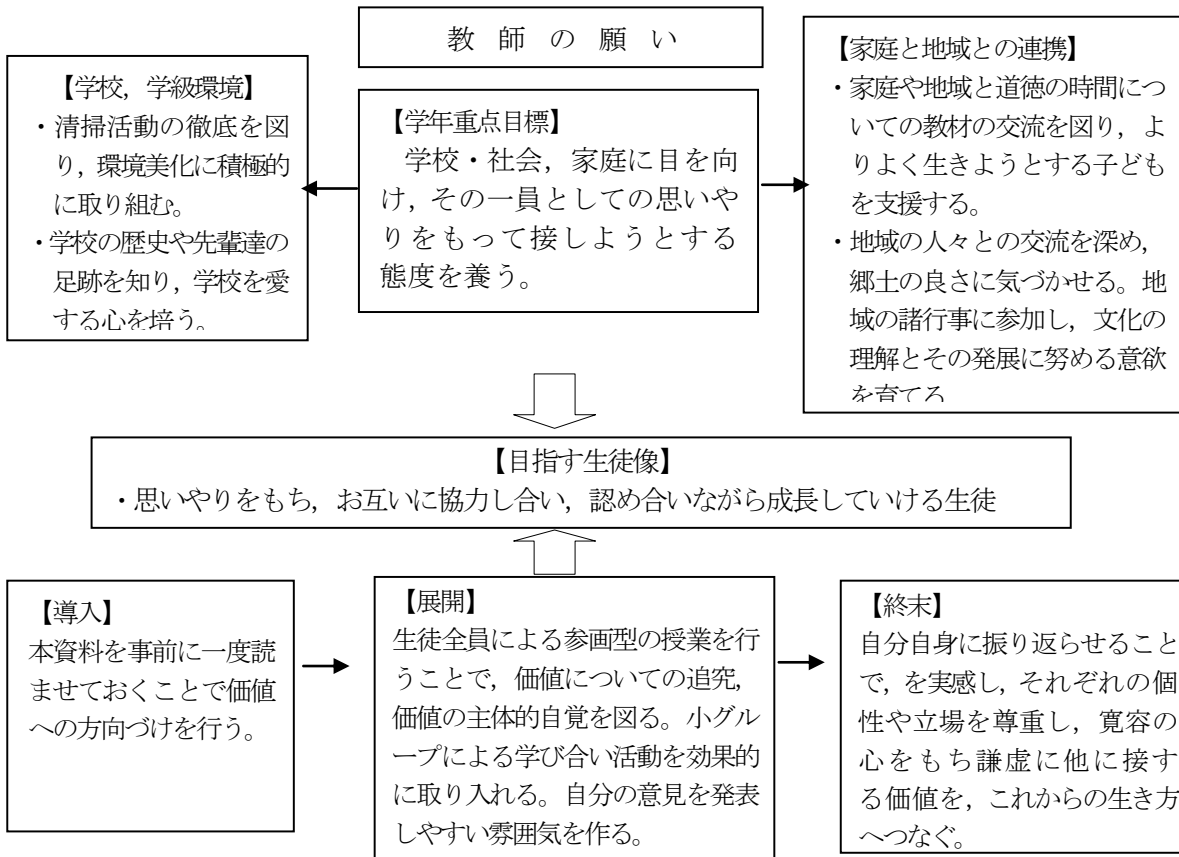
うっかり乗ってしまった乗客に停車してほしいと頼れ, 苦肉の策で降ろしてあげた乗務員の広い心が描かれている。ブレーキテストは思いつきではなく, 何とかしてあげたいと思ふ気持ちの表れである。人それぞれの置かれた立場を尊重し, それを生かしていくといふ乗務員の気持ちに共感させたい。

4 研究主題との関連

コの字型や市松模様の座席を取り入れることで, お互いの考えや意見を交流しながら他者と関わりあいながら, より本時への価値へと迫ることができる。生徒の発言や呟きを教師がつなぎながら授業を展開していくことで, 生徒間での学びあいは, より深まっていく。生徒の学びあいを定着化し, 学びを深めることで, 自己を見つめると共に他者を認め, よりよい人間関係の構築へとつながっていくと考える。

5 指導の構想

「人間として生きることの喜びを見いだそうとする心」を育成する指導の構想



[本時を要として位置づけた指導構想図]

月	特別活動・体験的活動	道徳の時間	各教科等の学習	日常活動・その他
5月		◇主題名 資料名「本当に望ましい世界って……」 ねらい: それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなものの見方や考え方があることを理解して, 寛容の心をもち謙虚に他に学ぶとする態度を養う。		・普段の学級活動においても, 意見交流する場面を多くもつ。
6月	[進路] ・自己の適性把握 ・主体的な進路選択		[社会] ・人権と共生社会	
9月	[生徒会活動] ・文化祭活動 ・募金活動 豊かな心情の育成	◇主題名 資料名「発車, オーライ!」 ねらい: それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなものの見方や考え方があることを理解して, 寛容の心をもち謙虚に他に学ぶとする態度を養う。	[学活] ・ボランティア活動 望ましい人間関係の確立	
10月	[生徒会活動] ・体育祭活動 ・生徒集会 異年齢集団の所属感 集団で作り上げる喜びと達成感		[総合的な学習] ・職場体験学習 人とのつながりと感謝の気持ち	

6. 本時の学習指導

(1) ねらい

人により、それぞれの置かれた立場を尊重し、それを生かせる広い心を育てる。

(2) 展開

段階	時間	学習活動と主な発問	予想される生徒の発言や心の動き	指導上の留意点
導入	5分	・前時に読んだ資料について、初発の感想を使いながら想起させる。	・おじいさんの無理な要望に乗務員さんが困っている。 ・おじいさんをなんとか下車させてあげたい。	・初発の感想を使いながら発言を促す。
展開	前段 30分	・資料の前半部分を読み登場人物、状況を掴む。 ○乗務員は、おじいさんの願いを聞き、どのような気持ちになったと思いますか。  ○乗務員は、(おじいさんへの対応を、) どうすればいいと思いますか。  ・資料の後半部分を読む。 ◎ブレーキテストということで停車し、乗客を降ろした乗務員の気持ちを考えよう。  ・走り去るバスに向かって、手を合わせ、頭を下げているおじいさんを見た乗務員の気持ちを考えよう。	・困っている。申し訳ない。 ・規則だから仕方ない。 ・他のお客さんがいるから停めることはできない。  <降ろす> ・おじいさんの願いを叶えたい。 ・何とかしてあげたい。 ・なんとかバスを停める方法はないか。 <降ろさない> ・規則は守らなければいけない。 ・他のお客さんのことを考えると降ろせない。 ・乗ってしまったおじいさんの責任。  ・規則違反で問題になるかもしれない。 ・規則はもちろんだが、何とかおろしてあげたかった。  ・おじいさんのためになってよかった。 ・おじいさんも、乗務員さんや他の乗客の優しさに感謝している。	・資料の前半部分を範読する。 ・登場人物、状況の確認をする。 ・乗務員として規則を無視できないつらさをおさえる。  ・降ろす、降ろさないどちらの立場も間違いではないことをおさえる。 ・ネームプレートを黒板上に掲示し、理由を数名に発表させる。  ・意見が変わった人はネームプレートを移動させてもよいこととする。  ・授業者が後半を読み聞かせる。 ・資料の続きを読み、おじいさんと乗客の心情をおさえる。 ・乗務員が選択した方法が、規則にも違反せずにおじいさんの要望に応えるものだと気づかせる。 ・おじいさんも、自分の無理な要望を乗務員さんが機転を利かせて叶えてくれたことに深く感謝していることに気づかせたい。
	後段 10分	・立場の違いから、困った経験があるかどうか考える。	・リーダーとしての経験や、年長者としての経験を想起。	・立場の違いから、相手を尊重し、自分らしくふるまうことの大切さを考えさせたい。
	終末	5分	・教師の説話	

8 板書計画

発車，オーライ！

バスガイド(運転手)

何とかしたい

降りてあげたい

降りてあげられない  
(必死で頼む)

おじいさん

降ろす  
ネムプレート

降ろさない  
ネムプレート

フリーキテスト  
無事に降りる。

車内に大きな拍手

バスに向かい、手を合わせ、  
頭を下げている。

広い心がもたらすあたたかな情景